

午後 II 試験

問 1

出題趣旨

システム方式設計は、システム開発におけるシステムアーキテクトの重要な役割の一つである。システム方式設計では、業務プロセスへの効果と実現可能性などを総合的に検討しなければならない。また、システム方式設計の結果を利用者に説明し、理解してもらうことが必要であり、そのための工夫をすることも重要である。

本問は、システム方式設計について、設計結果とその決定理由、利用者の理解度を高めるための工夫を具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要なシステム方式設計の能力と経験などを評価する。

問 2

出題趣旨

システムアーキテクトは、業務の課題に対応するために、情報システムの業務機能を変更したり追加したりする。このような業務機能の変更又は追加では、既存機能の活用及び既存の情報システムへの影響を最小限に抑えるための工夫をする。

本問は、システムアーキテクトが業務の課題に対応するために必要となった業務機能とそれが必要となった理由、それに対応するために情報システムを変更したり追加したりした内容とその工夫について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な情報システムの業務機能の変更又は追加に関する能力を評価する。

問 3

出題趣旨

組込みシステムを構築する際、各機能に対応したモジュール、ユニットなどを組み合わせて構成する場合がある。組込みシステム製品に求められる要件に配慮しながら、将来発生し得る事態も想定し、適切に対応できるように設計することが望まれる。

本問は、モジュール間インタフェースの仕様を決定するに当たって、結合度などについて、ライフサイクルを見据えた適切なインタフェースの仕様を検討したか、また、その結果をどのように分析したかを具体的に論述することを求めている。論述を通じて、組込みシステムのシステムアーキテクトに必要なインタフェースの設計における実践的能力を評価する。